

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：京都中部広域消防組合

プロジェクト名	消防施設・装備整備プロジェクト		実施期間	平成28年度	テーマ	まちの安全・安心	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	当消防組合は、京都府の約4分の1を占める広範な面積を管轄しており、2消防署・1分署・4出張所に消防ポンプ自動車7台と水槽付き消防ポンプ自動車を分散配置するとともに、各消防装備を配備し各種災害等に対応しているが、複雑多様化する災害に対応するため、計画的に消防施設・装備等の性能向上を図る必要がある。							
プロジェクトの目的及び概要	単に消防車両や装備、施設の充実を図るだけでなく、地域住民と顔の見える関係を目指し、できる限りあらゆる場所に出向き、消防訓練や消防車両の見学などを通じ、住民と触れ合い、防火の啓発を行う。また、施設の機能整備を行うことにより、将来にわたる住民の安全安心を確保する。							
	総事業費（千円）	207,041	本年度事業費（千円）	207,041	交付金額（千円）	6,433		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	消防資機材整備事業	交付対象事業	消防資機材の整備			トランシーバー 22組、ホース 82本 空気呼吸器 2台、空気ポンベ 5本		
	消防車両整備事業	交付対象事業	消防車両の整備			はしご付消防ポンプ自動車 1台		
	情報化対策事業	関連事業	ノートパソコンの更新			ノートパソコン更新 19式		
	消防活動技術向上訓練	関連事業	職員の総合訓練を実施			勤務の中で随時実施		
住民 協働 事業	消防ちびっ子写生大会	関連事業	幼稚園児等を対象に消防車両の写生大会を開催			平成28年10月15日（土） 作品数102点		
	移動消防署	関連事業	学校、幼稚園及び催し会場へ出向き消防署を開設			実施回数 11回		
	消防訓練	関連事業	学校、幼稚園及び事業所を対象に消防訓練を実施			実施回数 131回		
住民が 取り組む 事業								
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	消防資機材の整備（トランシーバー 22組、ホース 82本、空気呼吸器 2台、空気ポンベ 5本） はしご付ポンプ自動車の更新（1台）		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）		資機材の整備（トランシーバー 22組、ホース 82本、空気呼吸器 2台、空気ポンベ 5本） はしご付ポンプ自動車の更新（1台）（平成29年3月31日時点）		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	目標としていた消防資機材の整備や消防車両の更新等が完了し、消防施設・装備の性能向上が図れ、効果的な情報提供と住民との触れ合いのもと防火の啓発が図れた。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）			（時期）		
成果 指標 ②	成果指標の目標数値			成果指標の実績値 （○年○月○日時点）				
	成果指標の達成状況		（左の理由）					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）			（時期）		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：京都中部広域消防組合

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p>	<p>消防施設・装備整備プロジェクトで計画していた事業をすべて完了し、これにより、住民との触れ合いや効果的な情報提供が図られ、消防業務への理解と防火啓発に効果が得られた。</p>	
<p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>交付事業を達成することにより、隊員の安全管理を図ることができるとともに、住民に対しての将来的な安全安心の確保が図れた。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>消防資機材の整備や消防車両の更新を行うことにより、消防施設・装備の充実と消防機動力の強化を図り、有事にその機能を十分に発揮することが可能となり、隊員はもとより地域住民に安心を与え、住民の防火防災意識の高揚にも繋がった。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>より高度な消防活動を行うためには、常に消防施設、装備の機能を最大限に発揮できる状態に保つことが求められている。このような中、消防資機材・消防車両等を更新整備することは、管内住民に安全・安心を提供し、近年の消防に対する住民の期待に応えることができる。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>当消防組合の管内は、広域かつ山間地域が多く、また高齢化率が高い状況であるため、有事に対しての即応体制の整備が課題である。最新の機能を備えた消防資機材、消防車両等の更新整備により、災害時における万全な体制を整え、災害に強いまちづくりのために効果がある。 特に、京都縦貫自動車道の高速道路網接続に伴う利用者増による災害対応への機動力向上が図られた。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>本事業について、大変厳しい財政状況下で実施計画（消防施設・装備等事業計画）に基づき事業執行ができ、各構成市町の負担金軽減を図ることができた。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>本事業を実施したことにより、装備及び車両の安全化を図ることができ、安心・安全なまちづくりにつながった。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。